

リパブリックイニシアティブ 広場研究会 第3回全体会

日時：10月30日 18:00～21:00

場所：ワテラスサロン

参加者：牧村、高宮、助川、町田、槻橋、西田、山崎、寺本（株式会社伸和エージェンシー）（敬称略）高地（記録）

■助川さまより、神田淡路町「ワテラス」の事例紹介

再開発の経緯、施設構成の紹介、淡路エリアマネジメント（以下エリマネ）について、理念、活動、ミッション、役割のご紹介。周囲との関係を重視し、全て合意形成を行った上で事業を進めているために、広場と公園ともに使いやすい場所となっている。

■質疑応答、感想等

収益構造や、公園と広場が隣接していることでの運営の実際について質疑応答。所管の千代田区のルールも確認しながら、公園での商業関係の規制緩和についてディスカッション。仮設的な広告や常設店舗ではないキッチンカーの使用、催事の主催に行政が入っている場合など、公園での商業展開を行う可能性を検討。

■牧村事務局長・西田さまより、町田市の芝生広場「町田シバヒロ」について紹介

庁舎跡地を広場として利用する社会実験を行っており（5700平米。有料貸し出しをしている。はじめは市民参加のイベントのみ開催可能だったが、2014年秋から商業イベントも可となっている。管理は指定管理者のコンベンション協会。）、これまでトップダウンでイベントを仕掛けていたが2015年1月以降のことは決まっておらず、スキームや企画作りについて広場PTへの協力を求めている。町田市としては企画立案ができる人材育成も行いたいと考えている。

■課題の整理や取り組み案の検討

全面が天然芝であり養生を考える必要があることや、屋根、給排水や電気インフラがないという状態。周囲の学校や商店街との関係づくり、規制緩和や収益構造を考えることも必要。スキームとしては実行委員会やコンソーシアムといった枠組みを作り、企業の参加を得ながら収益構造を作る。純粋な広場の活用・運用か、商店街の活性化等全体的に取り組むなど方法論は複数あるので、まずは研究会の一つとして、ワークショップをセッティングして一度話してみる。